



未来に届けたい、食への熱い想い。

Miyazaki Agricultural Junior College

宮崎県立農業大学校



アグリビジネス学科



大規模経営 コース

目標

水稲や露地野菜を中心に大規模経営における理論と実践の学習、また、経営手法や法人化についての講義、事例調査等の体系的な学習により、地域社会・農村で活躍できる人材を育成します。

主な科目

水稲・露地野菜栽培、大規模畑作・水稲栽培、機械実習、農業法人実務、農産物加工、販売実習、大型特殊けん引講習、大規模法人経営の理論と事例研究、プロジェクト学習等

これまでの研究 (プロジェクト)

エダマメ大規模経営の可能性
畝の大きさが原料用カンショ栽培に及ぼす影響
タマネギの品種別の生育特性
大根の播種時期を分けることによる労力分散
カボチャの一番花着果部位と果実の品質
緑肥植物を利用したセンチュウ防除

卒業後の進路

Future!

就農、農業法人、JA(都城、延岡、日向)、農協果汁、農業等関連企業、進学等



◆栽培品目(製造)

水田4.8ha、普通畑3.5haを保有しており、早期水稲、麦、そば、かんしょ、露地野菜(ホウレンソウ、ダイコン、キャベツ、ニンジン等)を栽培

大規模経営コース 三木 光輝

Student's Voice

我が家は、専業農家です。幼いころから親の姿を見て農業について興味を持つようになり、将来的には後を継いでいきたいと思い、大規模経営コースに入学しました。

露地野菜栽培と水稲栽培の管理を中心とするプロジェクト学習を行っている、作業は少しきついときもありますが、とても充実した学習環境にあります。

農業のことについて興味がある方や、やってみたいと思っている方は、優しく頼りになる先輩方、先生方が待っていますので、是非、農業大学校に入学してください。



スケールの大きな学習環境が、 確かな技術と豊富な知識を育てる。

◆教育課程

社会情勢の変化や国際化に対応できる幅広い視野を持ち、高度な技術と経営能力を有する農業経営者、地域農業を先導する農業指導者を養成し、本県農業の振興発展に寄与する優秀な人材を育成する。

【各学科共通科目】

くらしと法律・経済、情報処理Ⅰ・Ⅱ、文書表現・スピーチ、英会話、農業経営基礎、農業簿記基礎、農業簿記PC、農業科学基礎、人間社会と心理、農業数学特別講義、英語特別講義 など

アグリビジネス学科

グリーンライフ コース

目標

地域資源を活用した加工食品の製造や六次産業化に取り組む為のビジネスの理論と実習を行うことで、地域社会・農村で活躍できる人材を育成します。

主な科目

食品表示、食品衛生、グリーンツーリズム、農業と福祉、マーケティングと顧客管理、農畜産物加工実習、農家直売所・農家レストラン・農家民宿経営の理論・実習・事例研究、プロジェクト学習等

これまでの研究 (プロジェクト)

サツマイモを活用したペットおやつ製品開発
農大産小麦パンの製造・販売の可能性
農業経営における米粉活用の可能性
低コストを目指した麦の6次産業化
地元産野菜を使った菓子作りに関する研究
早刈りそばを活用した加工品販売の可能性

卒業後の進路 *Future!*

JA(児湯)、研修、農外企業等
※平成24年3月卒業した第1期生の進路です。

グリーンライフコース 黒木 真一郎

私の実家では農業経営を行っているので、将来は後を継ごうと考えています。その際、農産物に付加価値を付けて販売する食品加工業のことを学びたいと考えてグリーンライフコースに入学しました。加工実習では主に農産加工室で、充実した機械設備のもとで作業を行うことができます。みなさんもぜひ楽しく、食品加工などについて学びませんか。



Student's Voice



◆栽培品目(製造)

農産加工品として、マドレーヌ、クッキー、各種ジャム類、米粉パン等を製造し販売している。スイートコーン、落花生、かんしょ、大根などを生産し、加工まで行っている。

学科を卒業した者は、
「宮崎県農業士」と「専門士」の
称号が付与されます。

- ◆就農コーディネーターにより、就農に向けたサポートをしています。
- ◆四年制大学(農業系)の3年次編入の受験資格が得られます。
- ◆農業基盤のない方や初めて農業を学ぶ方のカリキュラムも充実しています。

在学中にチャレンジする資格・検定等

- | | |
|-------------|---------------|
| 大型特殊免許(農耕用) | 家畜商 |
| 農業機械士 | 受精卵移植師(選抜) |
| けん引免許(農耕用) | 大型特殊免許(限定解除) |
| 危険物取扱責任者 | フォークリフト運転技能講習 |
| 劇毒物取扱責任者 | 小型移動式クレーン技能講習 |
| 食品衛生責任者 | ガス溶接技能講習 |
| フラワーアレンジメント | アーク溶接技能講習 |
| 家畜人工授精師 | 農業技術検定 |
| 2級認定牛削蹄師 | 小型ボイラー技能講習 など |



園芸経営学科



施設野菜

コース

目標

施設を活用した野菜の栽培と加工の理論と実践学習を通じて、宮崎県の施設野菜生産のリーダーとなる人材を育成します。

主な科目

園芸の基礎、野菜の栽培管理、土壌と肥料、植物の育種と知的所有権、病害虫防除と農薬の基礎、施設園芸の施設と環境、栽培実習、加工実習、流通販売実習、施設野菜経営の理論と事例研究等

これまでの研究
(プロジェクト)

- ・キュウリ:連続液肥灌水による生育比較
- ・ピーマン:遮根シート栽培、ポット苗等による生育比較
- ・イチゴ:ケイ酸肥料施肥によるうどんこ病の抑制
- ・アールスメロン:パッシブ水耕栽培による生育比較
- ・促成ピーマン:品種・台木比較
- ・ミニトマト:タイベックによる地温抑制効果と生育比較

卒業後の進路 *Future!*

就農、農業法人(四位農園)、JA(宮崎中央、こばやし、西部) JAアグリシード、農業キング、ながの屋、九州屋等



◆栽培品目(製造)

ピーマン、キュウリ、メロン、トマト、ミニトマト、高設イチゴ、ナス、ニガウリ、ロックウール栽培野菜

施設野菜コース 矢野 亮佑

Student's Voice

私は、将来農業をするために農業大学校に入学することを決めました。この学校では、専門的な知識や技術を学ぶだけでなく、資格取得にも力を入れています。そして、何より将来農業をする上で大切な仲間を作ることが出来ます。

農大は1、2年生ともに仲が良く、毎日楽しい生活を送っています。寮生活に慣れるのには、多少時間がかかりますが、必ず楽しい寮生活になることを約束できます。僕たちと一緒に充実したキャンパスライフを過ごしましょう。



交流会

学科・コースの連帯感を深めます。

先輩から後輩へ実習内容やほ場管理など引き継がなくてはいけないことが多くあります。スポーツでの交流と一緒に焼肉などをして、学科・コースの連携を深め、楽しい学校生活を目指しています。

学食

学生が一同に会して食事ができます

月曜日の昼食から金曜日の昼食まで、全員が寮のレストランで食事を摂ります。休日も事前に申請すれば、食事可能です。



美味しいごはんて
パワーチャージ!

Camp

園芸経営学科



花き

コース

目標

施設を活用した花きの栽培と装飾の理論と実践学習を通じて宮崎県の花き生産のリーダーとなる人材を育成します。

主な科目

園芸の基礎、花きの栽培管理、土壌と肥料、植物の育種と知的所有権、病虫害防除と農薬の基礎、施設園芸の施設と環境、農産物鮮度保持、栽培実習、流通販売実習、花き経営の理論と事例研究、フラワーアレンジメント等

これまでの研究 (プロジェクト)

- ・トルコキキョウ:夜温管理の違いによる生育比較
- ・ランキュラス:育苗用土の差による生育比較
- ・ポインセチア:シェード被覆による早期出荷
- ・宿根カスミソウ:パークオアシス培地による栽培
- ・ランキュラス:追肥濃度とホルモン処理効果
- ・カサブランカ:ルーティング処理の効果

卒業後の進路 *Future!*

就農、農業法人(井ヶ田製茶)、フラワーショップ、農業研修(福岡、インド)等

花きコース 谷川 俊彦

私の家では、花き栽培を中心とした農業経営を行っています。私は実家がホオズキ栽培を始めたことがきっかけで農業に強い関心を持ち、将来、家の担い手になりたいと思い、この学校に入学しました。実習で、花の種子を播いたり、先輩達がプロジェクトで育てた花を出荷調整したり、校内販売をしたりして、入学して日は浅いけど、多くのことを体験しています。この2年間しっかりと技術と知識を学んで将来に向け頑張っていきたいと思います。



Student's Voice



◆栽培品目(製造)

トルコキキョウ、ダリア、デルフィニウム、ランキュラス、ポインセチア、バラ、パンジー等



講義

幅広い分野の知識を習得するために本校職員だけでなく産学官の幅広い分野から外部講師を招へいし、充実した講義が開かれています。

海外農業体験研修

国際的視野を身につけるために海外でのファームステイや産地視察等を通して、海外農業の現状や経営者感覚を直接体験します。

わくわくドキドキの体験!



◆栽培品目(製造)

マンゴー、ライチ、日向夏、金柑、みかん、ぶどう、梨、桃、バナナ、カキ、クリ

園芸経営学科



果樹・茶
コース

目標

施設・露地圃場を活用した果樹の栽培と加工の理論と実践学習を通じて宮崎県の果樹生産のリーダーとなる人材を育成します。また、県の茶業支場による茶の栽培と加工の理論と実践学習を通じて宮崎県の茶生産のリーダーとなる人材を育成します。

主な科目

園芸の基礎、果樹・茶の栽培管理、土壌と肥料、植物の育種と知的所有権、農産園芸の施策と流通、病害虫防除と農薬の基礎、施設園芸の施設と環境、農産物鮮度保持、栽培実習、加工実習、流通販売実習、果樹・茶経営の理論と事例研究 等

これまでの研究
(プロジェクト)

- ・マンゴー:省力化、低コストによる高品質生産
- ・金柑:完熟きんかんの台湾輸出に向けた防除体系の確立
- ・日向夏:県外出荷を目指した高品質果実生産
- ・日向夏:GA処理濃度の違いによる果実品質への影響
- ・ぶどう:種なしピオーネの品質向上を目指して
- ・みかん:後期一斉摘果による果実品質向上
- ・お茶:お茶の主要病害虫の防除について

卒業後の進路 *Future!*

就農、農業法人(コウワ アグリセンター都城)、JA(高千穂)、コメリ、農業キング、九州屋、公務員 等

果樹・茶コース
荒井 祐紀

私は前々から農業について感心を持っていたので、農業大学校へ入学しました。果樹・茶コースでは、マンゴー、ぶどう、金柑などを栽培しています。栽培管理は大変ですが、果実の成長を日々観察できたりして、とても楽しいです。まもなく、マンゴーの収穫が始まり、とても楽しみです。少しでも農業に興味がある人は、ぜひ農大と一緒に勉強しましょう。



Student's Voice



サークル

豊かな個性を伸ばす

- 運動クラブ…野球、サッカー、バスケット、バレー、バドミントン、テニス、卓球、剣道、舞上など
- 文化クラブ…華道、茶道、太鼓、ボランティアなど

地域イベントへの参加

地域に親しまれる農大校であるために生産した農産物を地域のイベントで直接販売し、消費者のニーズを把握するとともにコミュニケーションの大切さを学びます。

直接体験が大事!



Camp

畜産経営学科



肉用牛 コース

目標

肉用牛を飼養する広大な実習農場において、肉用牛経営を学生自らが実践することで、地域社会・農村で活躍できるたくましい畜産経営者及び畜産技術者を育成します。

主な科目

飼料作物、家畜飼養管理、家畜の栄養、繁殖生理、家畜人工授精特別講義、畜産概論、牛の病気、家畜排泄物、家畜のバイオテクノロジー、畜産関係法規、肉用牛経営の分析と診断、プロジェクト学習 等

これまでの研究 (プロジェクト)

- ・飼料用サトウキビ栽培の試み
- ・EM菌を使用した畜産経営
- ・飼料イネの2回刈りを活用した飼料の増産
- ・子宮マッサージ・お灸治療による繁殖改善
- ・焼酎粕を使った低コスト畜産
- ・飼料添加剤を用いた家畜の病気予防と改善

卒業後の進路

Future!

就農・農業法人(有田畜産)、JA(こばやし、高千穂)、経済連実習農場、家畜改良センター 等



肉用牛コース 甲斐 博子

私は、牛が大好きです。我が家は和牛繁殖農家であり、小さい頃から牛と触れ合って牛が大好きになりました。もっと牛と触れ合って勉強したいと考え農業大学校に入学しました。ここで、専門的な知識や人工授精の技術などを身につけるために日々頑張っています。牛が大好きで、もっと畜産をやりたい人、大歓迎です。一緒に楽しく学びましょう。



Student's Voice

◆飼育内容(平成24年5月1日現在)

- 肉用繁殖牛(黒毛和種):69頭
- 肥育牛(黒毛和種):43頭



課題に取り組む姿勢はみんな本気!



プロジェクト

基礎理論から最先端領域まで

学生は、自分のプロジェクト課題を設定します。創造的なプロジェクト活動により、生産技術と経営能力を高め、農業経営者としての能力を身につけていきます。



お客様の反応が楽しみ!



農大祭

学習・研修の成果を地域の方に

プロジェクトで栽培した作物や加工品などを販売します。販売する事の楽しさや楽しさを体験し、学習を深めます。また、ステージでは各種イベントを行い、地域の方に楽しんでもらえるよう毎年工夫しています。



畜産経営学科



乳肉複合

コース

目標

乳牛と肉用牛を飼養する広大な実習農場において、乳肉複合経営を学生自らが実践することで、地域社会・農村で活躍できるたくましい畜産経営者及び畜産技術者を育成します。肉用牛経営も学べます。

主な科目

飼料作物、家畜飼養管理、家畜の栄養、繁殖生理、家畜人工授精特別講義、畜産概論、牛の病気、家畜排泄物、家畜のバイオテクノロジー、畜産関係法規、乳肉複合経営の分析と診断、プロジェクト学習等

これまでの研究 (プロジェクト)

- ・糖度計を用いた母牛免疫力の推定
- ・子牛ベッドの検討
- ・粗飼料多給による発育の変化
- ・搾乳牛の蹄病対策
- ・乳中尿素窒素値を活用した搾乳牛の飼養管理
- ・肉用牛のオブシンクによる受胎促進

卒業後の進路 *Future!*

就農、農業法人、JA(都城、綾、宮崎中央)、畜産会社、進学(専攻科)、アメリカ研修等



◆飼育内容(平成24年5月1日現在)

- 乳用牛:20頭
- 肉用繁殖牛(黒毛和種):31頭
- 肉用繁殖牛(交雑種):6頭
- 肥育牛(黒毛和種):6頭
- 肥育牛(交雑種):11頭

乳肉複合コース 松生 利恵子

私の家は、酪農家です。牛という時が一番楽しいです。好きなことを仕事に活かせると思い、乳肉複合コースに入学しました。農場での実習は、乳牛の搾乳、肉用牛の繁殖、肥育管理、飼料作物の調整を行っています。また、在学中に畜産に必要な資格が取れます。畜産を将来やろうと思う人、畜産に興味のある人は、広い牧場で一緒に農業を学びましょう。

Student's Voice



ACCESS

- JR日豊本線・・・高鍋駅下車 北へ8km
- バス・・・・・・・宮崎交通バス高鍋営業所経由 都農または日向行き 「農業大学校前」下車
- タクシー・・・・・・高鍋駅より約15分

お問い合わせ

宮崎県立農業大学校 教務まで
☎0983-23-0120 FAX 0983-22-2529
 〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733番地
<http://www.majc.pref.miyazaki.lg.jp/>

